

農業経営改善計画認定申請書

年 月 日

大館市長殿

申請者住所
氏名
TEL

生年月日 年 月 日 歳

法人設立年月日 設立

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12条第1項に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画				
①目標とする営農類型				
今後の取り組み目標等を記入				
②経営改善の方向の概要				
(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)				
前年の 売上一経費	現状		目標(平成 年)	
	年間農業所得	〇〇〇 千円	4,500~	千円
	年間労働時間	2240 時間		1600 時間
③農業経営規模の拡大に関する目標				
現在の作目と作付面積・生産量を記入。	現状		目標(平成 年)	
	作目・部門名	作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数
例) 飼料用米 枝豆	500 a 100 a	25,500kg 2,100 k g	700 a 200 a	39,900 k g 9,000 k g
5年後の目標を記入				
経営面積合計		600a	900a	
区分	地目	所在地(市町村)	現状	目標(平成 年)
所有地	田	大館市	100 a	100 a
	自己所有の土地の面積			
借入地	田	大館市	500 a	800 a
借入地の面積				

記入例

③ 農業経営規模の拡大に関する目標	特定作業受託	作目	作業	現状		目標(平成 年)	
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
		例) 水稻	全作業	50 a	2,550 k g	50 a	2,850 k g
		○ 該当者のみ記入					
④ 生産方式の合理化に関する目標	作業受託	作目	作業	現状	目標(平成 年)		
		例) 水稻	田植え 乾燥調製 (すべての作業を受託している場合は「全作業」と記入)	50 a 50 a	100 a 100 a		
			単純計		100a		
			換算後		50a		
		○ 該当者のみ記入					
③ 農業経営規模の拡大に関する目標	農畜産物の加工・販売 その他の関連・附帯事業	事業名	内容	現状	目標(平成 年)		
		○ 該当者のみ記入					
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名	形式、性能、規模等及びその台数				
			現状		目標(平成 年)		
			(規格等)	(数)	(規格等)	(数)	
		例) トラクター トラクター コンバイン 乾燥機 田植機	36 p s 42 p s 6条刈り 40石 6条植え	1台 0台 1台 1台 1台	36 p s 42 p s 2台 60石 8条植え	1台 1台 1台 1台 1台	
	○ 所有している機械、施設の規格と数を記入			○ 5年後の増加予定や導入予定を記入			

記入例

④ 生産方式の合理化に関する目標	現状		目標(平成 年)		
	例) ・農地が分散している ・区画が小さい ・排水不良		例) ・農地集積により連担化を図る。 ・区画の大きいほ場を増やす。 ・明暗渠を整備する。		
農用地の利用条件 					
作目・部門別合理化の方向	作目・部門名	現状		目標(平成 年)	
	飼料用米 枝豆				

⑤ 経営管理の合理化に関する目標	現状		目標(平成 年)	
	例) ・白色申告である ・複式簿記による記帳 ・部門ごとの損益を出していない		例) ・青色申告の実施 ・現状維持 ・部門ごとの損益計算を行う	

記入例

	現状	目標(平成 年)
	⑥農業従事の態様等の改善に関する目標	例) ・ 休日が定まっていない ・ 労働時間が多い

	経営改善の目標	措置
	⑦目標を達するためにとるべき措置	例) ・ 規模拡大、農地集積 ・ 生産方式の合理化 ・ 経営管理の合理化

(参考) 経営の構成	氏名 <small>(法人経営にあっては役員の氏名)</small>	年齢	代表者との続柄 <small>(法人経営にあっては役職)</small>	現状		見通し	
				担当業務	年間農業従事日数(日)	担当業務	年間農業従事日数(日)
	大館 太郎	55	(代表者) 本人	全般	280	全般	200
	大館 市子	54	妻	経理	100	経理	80
	大館 市郎	27	子	飼料用米	200	全般	200
	大館 二郎	25	子	枝豆	60	全般	200

雇用者	常時雇(年間)	実人数	現状		人	見通し		人	
		臨時雇(年間)	実人数	現状		人	見通し		人
			延べ実人数	現状		人	見通し		人

(参考) 他市町村の認定状況	認定市町村	認定年月日	備考

5年後の常時雇用・臨時雇用者の人数を記入